

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DK180／教育社会学 (Sociology of Education)		
担当者名 (Instructor)	山口 泰史(YAMAGUCHI YASUFUMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOX2410	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

この授業では、「教育」がどこにおいてどのような目的でおこなわれ、どのような働きを持っているのかについて理解するとともに、教育という営みについて自身の経験にとらわれることなく、データをもとに実証的に整理し議論する力を身につけることを目標とします。

In this class, students will be able to understand the places, the purposes, and the roles of education, and to discuss educational matters empirically with data.

授業の内容 (Course Contents)

この授業では、教育社会学の知見や社会統計・社会調査等に基づくデータを紹介しながら、学校・家庭という場所を中心としながらも広い範囲で影響をおよぼす「教育」について客観的に理解することを目指します。毎回の授業で、履修者にはコメントペーパーを書いてもらい、次の授業でいくつかのコメントを匿名で紹介し、そのことを通じて履修者の理解状況の把握、そして皆さんへのフィードバックをおこなうことを予定しています。

In this class, students aim to understand education, which emerges mainly at schools or families and affect various areas of the society, from implications from the research in the sociology of education and data from social indicators or social surveys shown in the class.

Students have to write and submit their comments in classes, and the instructor presents some of them in the next class. This process enables us to assess the level of students' understandings, and students can get a feedback.

授業計画 (Course Schedule)

1. イントロダクション: 教育社会学と本授業の位置づけ
2. 社会における教育の役割
3. 学校という空間(1): 学級・ホームルームという仕組み
4. 学校という空間(2): 教師の役割と取り組み
5. 学校という空間(3): 生徒文化と学校問題
6. 教育選抜とメリトクラシー
7. 教育と格差(1): 出身家庭と教育達成
8. 教育と格差(2): 学歴と地位達成
9. 教育と格差(3): ジェンダーと日本社会
10. 地域社会と教育の関係を考える
11. 家族と教育(1): 教育する家族と戦後日本社会
12. 家族と教育(2): 家族の多様化と貧困
13. 家族と教育(3): 教育への投資と日本の教育政策
14. 教育の社会的役割と日本社会のゆくえ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

授業時間外の予習・復習のために、各回の授業において文献の紹介や学習の指示をおこないます。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%)/コメントの提出(40%)

テキスト (Textbooks)

授業時にプリントを配布します。テキストはとくに指示しません。

参考文献 (Readings)

1. 酒井朗・中村高康・多賀太編、2012、『よくわかる教育社会学』、ミネルヴァ書房 (ISBN:9784623062935)
2. 近藤博之・岩井八郎、2015、『教育の社会学』、放送大学教育振興会 (ISBN:9784595315374)
3. 矢野真和、2015、『大学の条件: 大衆化と市場化の経済分析』、東京大学出版会 (ISBN:9784130513326)
4. 松岡亮二編著、2021、『教育論の新常識: 格差・学力・政策・未来』、中央公論新社 (ISBN:9784121507402)

5. 広田照幸、1999、『日本のしつけは衰退したか:「教育する家族」のゆくえ』、講談社 (ISBN:9784061494480)

6. 日本教育社会学会編、2018、『教育社会学事典』、丸善出版 (ISBN:9784621302330)

この他の参考文献については、授業内で示します。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

※授業は、配布プリントに基づく講義形式での実施を中心とし、授業内でコメントを書く時間を設けます。

※新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の流行をはじめとする社会状況や履修者の状況に応じて、履修者に相談の上、上述の内容を一部変更する場合があります。

注意事項(Notice)